

中国名詩鑑賞辞典

角川小辞典——19



山田勝美



唐詩選卷之一

濟南李攀龍編選

五言古

述懷

魏徵

中原還逐鹿，投筆事戎軒。
縱橫計不就，慷慨志猶存。
仗策謁天子，驅馬出關門。
請纓繫南粵，憑軾下東藩。
鬱紆

唐詩選卷一

鬱紆

●漢詩の味わい方からその成り立ち変遷にいたるまで、詳しく解説した●古くから親しまれてきた詩を網羅し、わかりやすく解説した●各詩ごとに、解説・本文・書き下し文・口語訳・語釈・押韻・余説の各項を設けた●口語訳は、特にわかりやすく言いまわしに工夫した

角川小辞典
19

中国名詩鑑賞辞典



角川書店



中国名詩鑑賞辞典

著者・山田勝美

発行者・角川春樹

印刷者・横山 弘 東京都墨田区亀沢一―九―一四

製本者・宮田四郎 東京都文京区後楽二―二三―七

発行所・角川書店 東京都千代田区富士見二の十三の三・郵便番号102

振替口座東京三一―九五二〇八・電話03(26)七一一(代)

初版・昭和五十三年七月二十日発行

六版・昭和五十八年四月三十日発行

装丁・代田 奨

製版・中台整版 印刷・横山印刷 製本・宮田製本

落丁本、乱丁本はお取替えいたします

0592-061900-0946(0)

©Printed in Japan

著者紹介

山田勝美 明治四十二年一月、千葉

県に生まれる。昭和十年、広島文理科大学漢文科卒業後、東京大学中国哲学科に研究生として学び、加藤常賢博士について契金文を研究。三十二年、『塩鉄論の基礎的研究』によって博士号を受く。四十六年、中華学院より名誉哲士(文学博士相当)の称号を贈られる。現在、上智大学名誉教授。東洋大学・二松学舎大学講師。

著作『論衡上中』『塩鉄論』『角川字源辞典』(共著)『生きていた絵文字の世界』『中国教育宝典上下』(共著)『漢字の語源』『全訳論語』など。

* は角川書店刊

はしがき

中国の詩といえば、すぐ「唐詩選」が連想されるが、「唐詩選」の最大の欠陥は、なんといっても白楽天の詩を一首も採っていないことである。そこで、唐詩をひととおり見るには、むしろ「唐詩三百首」のほうが便利であるという主張もでてくる。しかし「唐詩三百首」にしても、その範囲は唐詩にのみ限られていて、中国の詩を全般的にひととおり見ることはできない。中国の詩のうち、唐詩に傑作が多いことは事実であるが、他の時代にもすぐれた作品がないわけではない。そこで、中国にも、また、わが国にも「中国歴代詩選」といった著述があるわけである。ところが、上は「詩経」「楚辭」から、下は明・清の作にいたるまでの、実にぼうだいな作品のうちから、どれを採りどれを捨てるかということになると、これはなかなか容易なことではない。いきおい、そこに選者の主観が強く働くことは避けがたい。歴代詩選どころか、右にあげた「唐詩選」と「唐詩三百首」の両者を比較してみても、そこにはすでに選者の好みが見えていて、採られている作品にはかなりの出入がみとめられる。公平に考えて、ある作品など、当然どちらにも採られてしかるべきなのに、それが一方にはあつて、他方にはないことが、かなり発見される。まして、「歴代詩選」ともなると、選者によってかなり採択の基準がちがっているようである。また、中国人の手になる「歴代詩選」と、日本人の手になるそれとの間にも、やはり相当のひらきがある。これらは日・中両国人の主観や、好みや、作品鑑賞の態度のちがいによるものであろうが、あまりに個性の強

い選択ぶりでは、読者にとって迷惑至極な話であろう。

そこで著者は今ここに、上は「詩経」から、下は明・清にいたるまでの作品中から、しかるべき作品を選んで「中国名詩鑑賞辞典」を著すにあたって、既刊の選集にいかなる作品が採られているかを参考としつつも、なお次のような基準をたてて作品を選んだ。

一、わが国の高等学校や大学のテキストに採られているもの。

一、過去において、日本文学の作品に影響を与えたもの。

一、現代語彙のうちに生きている成句を含んでいるもの。

一、日本人に今なお親しまれ、興味の深いもの。

一、中国文学を鑑賞するうえにおいて適当と考えられるもの。

もちろん、こうした選択の基準にも問題はあろうが、本書の性質上、やむを得ないしだいである。また、採択した作品の数もスペースの関係からして、ぎりぎりのものとし、割愛した作品も多くある。本書はどこまでも啓蒙書であり、入門書であって、本書を一読して中国詩に興味をもたれた読者は、さらに専門書について研究されることを望んでやまない。

昭和五十三年四月

著者しるす

凡 例

一、本書は、歴代中国詩のうちから、比較的わが国民に古くから親しまれているものを精選し、これらにごく一般的な注釈を施したものである。

一、本書は読者の便利を考えて、「本文」「訓読」「通釈」の三つが互いに照応するように配置するとともに、各々の句の頭の上には番号を付して、該当する部分がすぐに見いだしやすいようにしておいた。「通釈」はできるだけ通説に従っておいたが、近代感覚にマッチするよう、特に言いまわしに工夫を凝らすとともに、ときには拙訳の詩や和歌などで代用させた部分もある。また、「本文」に無い語句を補った部分は（ ）でくくり、本文直接の解釈でないことを示しておいた。

一、各詩ごとに、「解説」・訓読・通釈・「語釈」・「押韻」及び「余説」の項を設け、「解説」では、詩題の解説、作者の紹介などを試みた。作者の紹介は、その作品が、本書のうちに始めて出てくるところでのみ試み、他のところではすべてこれを省いた。「余説」では、その作品に関する鑑賞・批評から、作品にまつわる話、解釈についての異説、訳詩、日本文学との関係など、参考になるとみられることを、すべて思いつくままに記しておいた。

一、本書中における表記については、「本文」はすべて旧活字体の文字を使い、「訓読」「通釈」その他は当用漢字体に従った。また、漢文の訓読は文語文法に準拠することになっているので、「訓読」のルビ

は当然のことながら、字訓は歴史的かなづかいに従ったが、字音のほうは現代かなづかいによった。また、「解説」「押韻」などの割注においては、わずらわしさを避けるために、音訓ともすべてひらがなを用いた。

一、訓読のうち、ゴシック体を用いてあるのは、その語句が成語句として、有名であることを示したものである。

一、「押韻」は、字の右側に平声^{せう}は○、仄声^{へい}は●をつけて示し、韻が変わる場合は「押韻」の部の説明を参照されたい。

目次

はしがき……………一

凡 例……………三

中国詩を読むための序章……………五

上代の詩……………

桃 夭……………詩経・周南 四

黍 離……………詩経・王風 四

子 衿……………詩経・鄭風 四

漢・魏・六朝時代の詩……………

秋風辞……………漢・武帝 四

悲愁歌……………漢・烏孫公主 四

四愁詩四首 録二其一……………漢・張平子 五

長歌行……………漢・無名氏 五

飲馬長城窟行……………漢・無名氏 五

古詩十九首 其一……………漢・無名氏 五

古詩十九首 其十……………漢・無名氏 五

古詩十九首 其十四……………漢・無名氏 五

古詩十九首 其十五……………漢・無名氏 五

七步詩……………魏・曹植 五

七哀詩……………魏・曹植 五

猛虎行……………晉・陸機 五

招隱詩……………晉・左思 五

歸園田居 其一……………晉・陶潛 五

歸園田居 其三……………晉・陶潛 五

飲酒 其五……………晉・陶潛 五

飲酒 其七……………晉・陶潛 五

責子……………晉・陶潛 五

雜詩十二首 録一……………晉・陶潛 五

神情詩	晉・顧愷之	三
勅勒歌	六朝・無名氏	三
入若耶溪	梁・王籍	四
木蘭辭	北朝・無名氏	六
唐代の詩		
述懷	唐・魏徵	五
蜀中九日	唐・王勃	五
滕王閣	唐・王勃	七
易水送別	唐・駱賓王	九
新年作	唐・宋之問	一〇
至端州驛見杜五審言・沈三佺期・閻五		
朝隱・王二無兢題壁慨然成詠	唐・宋之問	一〇
邨山	唐・沈佺期	一三
古意	唐・沈佺期	一三
代悲白頭翁	唐・劉希夷	一五
公子行	唐・劉希夷	一六
薊丘覽古	唐・陳子昂	二二
春曉	唐・孟浩然	二三
宿建德江	唐・孟浩然	二四

送杜十四之江南	唐・孟浩然	二五
臨洞庭上張丞相	唐・孟浩然	二六
留別王維	唐・孟浩然	二七
自洛之越	唐・孟浩然	二八
歲暮歸南山	唐・孟浩然	三〇
題袁氏別業	唐・賀知章	三一
回鄉偶書	唐・賀知章	三一
春江花月夜	唐・張若虛	三三
照鏡見白髮	唐・張九齡	三六
汾上驚秋	唐・蘇頌	三九
送梁六	唐・張說	四〇
宴城東莊	唐・崔敏童	四三
奉和同前	唐・崔惠童	四三
和晉陵陸丞早春游望	唐・杜審言	四三
渡湘江	唐・杜審言	四五
南樓望	唐・盧僊	四六
楓橋夜泊	唐・張繼	四七
登鸛鵲樓	唐・王之渙	四八
出塞	唐・王之渙	四九
芙蓉樓送辛漸	唐・王昌齡	五〇

從軍行	唐·王昌齡	一四
閨怨	唐·王昌齡	一四
出塞行	唐·王昌齡	一四
涼州詞	唐·王翰	一四
鹿柴	唐·王維	一四
竹里館	唐·王維	一四
雜詩	唐·王維	一四
九月九日憶山東兄弟	唐·王維	一五
送元二使安西	唐·王維	一五
少年行	唐·王維	一五
送丘為落第歸江東	唐·王維	一五
過香積寺	唐·王維	一五
送秘書晁監還日本國	唐·王維	一五
靜夜思	唐·李白	一五
玉階怨	唐·李白	一五
夏日山中	唐·李白	一六
秋浦歌	唐·李白	一六
客中行	唐·李白	一六
早發白帝城	唐·李白	一六
峨眉山月歌	唐·李白	一六

望廬山瀑布	唐·李白	一六
贈汪倫	唐·李白	一六
黃鶴樓送孟浩然之廣陵	唐·李白	一六
春夜洛城聞笛	唐·李白	一六
望天門山	唐·李白	一七
蘇台覽古	唐·李白	一七
越中懷古	唐·李白	一七
聞王昌齡	唐·李白	一七
左遷龍標尉遙有此寄	唐·李白	一七
秋下荊門	唐·李白	一七
少年行	唐·李白	一七
與史郎中欽聽	唐·李白	一七
黃鶴樓上吹笛	唐·李白	一七
送友人	唐·李白	一七
贈孟浩然	唐·李白	一七
登金陵鳳凰台	唐·李白	一八
長干行	唐·李白	一八
子夜吳歌	唐·李白	一八
友人會宿	唐·李白	一八
月下獨酌	唐·李白	一八

山中問答	唐·李白	一〇	月夜	唐·杜甫	三
山中对酌	唐·李白	一〇	旅夜書懷	唐·杜甫	三
將進酒	唐·李白	一〇	春宿左省	唐·杜甫	三
把酒問月	唐·李白	一〇	春夜喜雨	唐·杜甫	三
宣州謝朓樓餞別校書叔雲	唐·李白	一〇	夜宴左氏莊	唐·杜甫	三
江上吟	唐·李白	一〇	登兗州城樓	唐·杜甫	三
行路難	唐·李白	一〇	羌村	唐·杜甫	三
別董大	唐·高適	一〇	登高	唐·杜甫	三
除夜作	唐·高適	一〇	九日藍田崔氏莊	唐·杜甫	三
送李少府貶峽中王少府	唐·高適	一〇	蜀相	唐·杜甫	三
貶長沙	唐·高適	一〇	登樓	唐·杜甫	三
邯鄲少年行	唐·高適	一〇	九日	唐·杜甫	三
人日寄杜二拾遺	唐·高適	一〇	返照	唐·杜甫	三
黃鶴樓	唐·崔顥	一一	秋興錄	唐·杜甫	三
絕句(五言)	唐·杜甫	一一	曲江	唐·杜甫	三
江南逢李龜年	唐·杜甫	一一	客至	唐·杜甫	三
絕句(七言)	唐·杜甫	一一	聞官軍收河南河北	唐·杜甫	三
解悶	唐·杜甫	一二	石壕吏	唐·杜甫	三
春望	唐·杜甫	一二	贈衛八處士	唐·杜甫	三
登岳陽樓	唐·杜甫	一二	貧交行	唐·杜甫	三

兵車行	唐・杜甫	二二
哀江頭	唐・杜甫	二五
茅屋為秋風所破歌	唐・杜甫	二六
飲中八仙歌	唐・杜甫	二六
磧中作	唐・岑參	二五
逢入京客	唐・岑參	二六
赴北庭度隴思家	唐・岑參	二七
玉閨寄長安李主簿	唐・岑參	二八
山房春事	唐・岑參	二九
酒泉太守席上醉後作	唐・岑參	三〇
韋員外家花樹歌	唐・岑參	三一
胡笳歌送顏真卿使赴河隴	唐・岑參	三二
題長安主人壁	唐・張謂	三四
塞下曲	唐・常建	三五
三日尋李九莊	唐・常建	三七
破山寺後禪院	唐・常建	三八
寄孫山人	唐・儲光羲	三九
闕題	唐・劉昫	四〇
秋思	唐・許渾	四一
咸陽城東樓	唐・許渾	四二

春行寄興	唐・李華	二二
邇詞	唐・張敬忠	二五
岳陽晚景	唐・張均	二六
汝墳別業	唐・祖詠	二七
春思	唐・賈至	二八
西亭春望	唐・賈至	二九
送李侍郎赴常州	唐・賈至	二九
聞雁	唐・韋應物	三〇
秋夜寄丘二十二員外	唐・韋應物	三〇
滁州西澗	唐・韋應物	三一
答李儋元錫	唐・韋應物	三一
幽居	唐・韋應物	三二
歸雁	唐・錢起	三二
闕下贈裴舍人	唐・錢起	三三
離別	唐・陸龜蒙	三三
江村即事	唐・司空曙	三一
三閭廟	唐・戴叔倫	三三
湘南即事	唐・戴叔倫	三三
贈殷亮	唐・戴叔倫	三四
除夜宿石頭驛	唐・戴叔倫	三五

重送裴郎中貶吉州	唐・劉長卿	三六
贈崔九	唐・劉長卿	三七
晚桃	唐・劉長卿	三八
別嚴士元	唐・劉長卿	三〇
秋日	唐・耿漳	三一
與從弟同下第出關	唐・盧綸	三三
長安春望	唐・盧綸	三三
汴河曲	唐・李益	三四
夜上受降城聞笛	唐・李益	三五
左遷至藍關示姪孫湘	唐・韓愈	三六
柳巷	唐・韓愈	三八
尋隱者不遇	唐・賈島	三九
度桑乾	唐・賈島	三〇
古風二首	唐・李紳	三二
秋思	唐・張籍	三三
感春	唐・張籍	三三
哭孟寂	唐・張籍	三四
遊子吟	唐・孟郊	三五
江雪	唐・柳宗元	三七
夏昼偶作	唐・柳宗元	三八

柳州二月榕葉落尽偶題	唐・柳宗元	三九
夏初雨後尋愚溪	唐・柳宗元	三〇
秋曉行南谷經荒村	唐・柳宗元	三一
漁翁	唐・柳宗元	三三
行宮	唐・王建	三四
秋風引	唐・劉禹錫	三五
楊柳枝詞	唐・劉禹錫	三六
秋思二首	唐・劉禹錫	三七
自朗州至京戲贈看花諸君	唐・劉禹錫	三八
石頭城	唐・劉禹錫	三九
西塞山懷古	唐・劉禹錫	四〇
寒食	唐・韓翃	四三
夜雪	唐・白居易	四四
對酒	唐・白居易	四四
村夜	唐・白居易	四五
古原草	唐・白居易	四六
送王卿使君赴任蘇州因思花迎新使	唐・白居易	四七
感舊遊寄題郡中木蘭西院	唐・白居易	四七
八月十五日夜禁中獨宿	唐・白居易	四七
對月憶元九	唐・白居易	四九

香炉峰下、新卜山居草堂

初成、偶題東壁	唐·白居易	三〇
春晚詠懷贈皇甫朗之	唐·白居易	三三
客中月	唐·白居易	三五
秋居書懷	唐·白居易	三六
別元九後詠所懷	唐·白居易	三七
別舍弟後月夜	唐·白居易	三八
花下對酒詩	唐·白居易	三九
上陽白髮人	唐·白居易	四〇
新豐折臂翁	唐·白居易	四一
壳炭翁	唐·白居易	四二
井底引銀瓶	唐·白居易	四三
太行路	唐·白居易	四四
長恨歌	唐·白居易	四六
琵琶行	唐·白居易	四八
聞白樂天左降江州司馬	唐·元稹	四九
尋陸羽不遇	唐·僧皎然	五〇
嶺上逢久別者又別	唐·權德輿	五七
折楊柳	唐·楊巨源	五八
江南春	唐·杜牧	五九

山行	唐·杜牧	六一
清明	唐·杜牧	六三
烏江廟	唐·杜牧	六四
泊秦淮	唐·杜牧	六五
漢江	唐·杜牧	六六
贈別	唐·杜牧	六七
江樓書感	唐·趙嘏	六八
夜雨寄北	唐·李商隱	六九
無題	唐·李商隱	七〇
金陵圖	唐·韋莊	七一
山亭夏日	唐·高駢	七二
淮上與友人別	唐·鄭谷	七三
過南鄰華園	唐·雍陶	七四
長城	唐·汪遵	七五
焚書坑	唐·章碣	七六
勸酒	唐·于武陵	七七
客中	唐·于武陵	七八
己亥歲	唐·曹松	七九
自詠	唐·呂洞賓	八〇

宋・元・明・清時代の詩

山園小梅……………宋・林逋……………三

小村……………宋・梅堯臣……………三

清夜吟……………宋・邵雍……………四

再到洛陽……………宋・邵雍……………四

安樂窩中吟……………宋・邵雍……………四

遠山……………宋・歐陽脩……………五

豐樂亭春遊三首 録一……………宋・歐陽脩……………五

戲答三元珍……………宋・歐陽脩……………五

送張生……………宋・歐陽脩……………五

嘲少年惜花……………宋・歐陽脩……………五

初夏……………宋・司馬光……………五

虞美人草……………宋・曾鞏……………五

梅花……………宋・王安石……………五

題齊安壁……………宋・王安石……………五

夜直……………宋・王安石……………五

鍾山……………宋・王安石……………五

葛溪賦……………宋・王安石……………五

秋日偶成……………宋・程顥……………五

春夜……………宋・蘇軾……………五

飲湖上、初晴後雨……………宋・蘇軾……………五

望湖樓醉書……………宋・蘇軾……………五

和孔密州東欄梨花……………宋・蘇軾……………五

初冬作贈劉景文……………宋・蘇軾……………五

題西林壁……………宋・蘇軾……………五

吉祥寺賞牡丹……………宋・蘇軾……………五

惠崇春江晚景……………宋・蘇軾……………五

太白山下、早行至……………宋・蘇軾……………五

橫渠鎮、書崇壽院壁……………宋・蘇軾……………五

書晁補之所藏李可画竹……………宋・蘇軾……………五

足柳公權連句……………宋・蘇軾……………五

新城道中二首……………宋・蘇軾……………五

是日宿水陸寺、寄北山……………宋・蘇軾……………五

清順僧二首……………宋・蘇軾……………五

除夜野宿常州城外……………宋・蘇軾……………五

初到黃州……………宋・蘇軾……………五

和子由送春……………宋・蘇軾……………五

正月二十日往岐亭、郡人潘古郭三人、送余於女王城東禪莊院……………宋・蘇軾……………五

於潛僧綠筠軒	宋	蘇軾	四〇
初秋寄三子由	宋	蘇軾	四〇
月夜與客飲杏花下	宋	蘇軾	四〇
鄂渚南樓書事	宋	黃庭堅	四〇
送春	宋	朱弁	四一
年華	宋	陳與義	四二
偶成	宋	朱熹	四三
醉下祝融峰	宋	朱熹	四四
四時讀書樂	宋	朱熹	四五
春雨	宋	陸游	四七
劍門道中遇微雨	宋	陸游	四八
秋懷	宋	陸游	四九
示兒	宋	陸游	五〇
出郊至金石台	宋	陸游	五一
落魄	宋	陸游	五二
遊山西村	宋	陸游	五三
暮春	宋	陸游	五五
莫春	宋	陸游	五六
晚泊松滋渡口	宋	陸游	五七
初冬	宋	陸游	五九

思婦	宋	陸游	五〇
夏夜逐涼	宋	楊万里	五二
過臨平蓮蕩	宋	楊万里	五三
後圃散策	宋	楊万里	五四
橫塘	宋	范成大	五六
柳花深巷	宋	范成大	五七
初到建寧賦詩	宋	謝枋得	五八
過零丁洋	宋	文天祥	五九
九日	宋	戴復古	五〇
寒夜	宋	杜耒	五一
清明日招社友	宋	高翥	五三
探春	宋	戴益	五四
吳山	金	金主亮	五五
同兒輩賦未開海棠	金	元好問	五六
遊西湖	元	薩都刺	五七
走筆贈燕孟初	元	薩都刺	五八
東城	元	趙孟頫	五九
過濟源登裴公亭用	元	耶律楚材	五三
間問老人韻	元	耶律楚材	五三
過閭闔	明	劉基	五四

憶昔……………	明・劉基	五二
尋三胡隱君一……………	明・高啓	五六
問梅閣……………	明・高啓	五七
夜雨江館写レ懷二首……………	明・高啓	五八
夜投三西寺一……………	明・高啓	五九
梅花九首……………	明・高啓	五〇
京師得三家書一……………	明・袁凱	五三
新莊漫興……………	明・李夢陽	五三
泛レ海……………	明・王守仁	五四
山中示三諸生一……………	明・王守仁	五四
妬レ花歌……………	明・唐寅	五五

覽レ鏡詩……………	清・毛奇齡	五七
治春絕句……………	清・王士禎	五八
秦淮雜詩十四首 録二一……………	清・王士禎	五九
銷夏詩……………	清・袁枚	五〇
春日雜詩……………	清・袁枚	五一
雨中送レ春……………	清・袁枚	五二
虞 兮……………	清・吳偉業	五三
簡三舒古廉一……………	清・吳錫麒	五四
送レ春二首 録一……………	清・吳錫麒	五四
赤壁……………	清・趙翼	五五

成句索引……………	五九
あとがき……………	五四
唐時代地図……………	五六